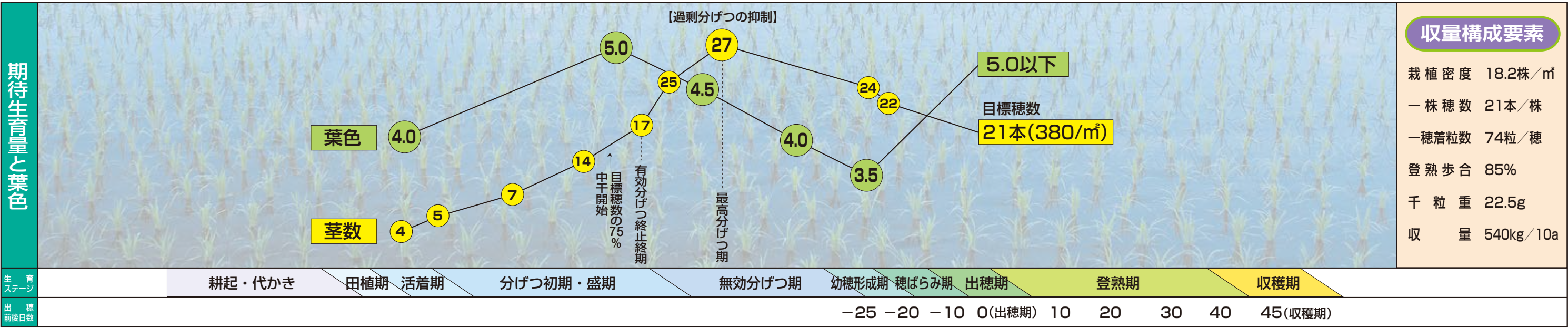




月	3月		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月
旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上

病害虫防除	基幹防除	種子消毒	箱予防	カメムシ防除	畦畔・雑草地除草	無人ヘリ防除(2回)	葉いもち紋枯病カメムシ等	ウツカ類カメムシ類イネドロオウムシ
異常発生防除	苗立枯病	タチガレエースM液剤500倍 (散布日 月 日)	タチガレエース100cc →水50ℓ →苗箱100枚	タコレート水和剤500倍 (散布日 月 日)	ナエファインフロアブル2,000倍 (散布日 月 日)	ナエファイン25mℓ →水50ℓ →苗箱100枚	サジェスト微粒剤 3~4kg/10a (散布日 月 日)	キラップ微粒剤 3~4kg/10a (散布日 月 日)

除草体系	① 一般的な体系処理	② 省力除草方法 (動力散布機を使用しない)	③ 田植同時
代かき	田植直後~5日	代かきから田植まで7日以内	代かきから田植まで7日以内
田植	田植直後~5日	田植後~20日	田植後~20日

施肥体系	〈省力化一発体系〉	〈分施肥体系〉
基肥	BBコシー発くん1号 BBコシー発くんDX24 BBコシー発くんNEO けい酸アップ・コシー発くん ※施肥量は通常の1.3倍となります。	基肥 BB056号 BB003号
中間追肥	珪酸加里プレミア	珪酸加里プレミア
穂肥		ゆめみ優米味R 有機入りいしかわ穂肥一発055

3月 うまい・きれい米づくりのスタートです。

- ☆**営農のポイント**
- ・種子消毒
テクリードCフロアブル 200倍 24時間浸漬
 - ・浸種
水温と浸種期間
- | | | | |
|------|------|------|-----|
| 水 温 | 7℃ | 10℃ | 15℃ |
| 浸種期間 | 18日間 | 13日間 | 9日間 |
- ・催芽
催芽温度 30℃
催芽程度 芽が1mm程度で、揃っている。

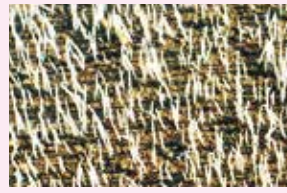
7月 生育環境を良くし、良質穂をつくる。紋枯病に注意

- ☆**営農のポイント**
- ・穂肥 第1回穂肥診断の目安（出穂18日前）
- | | 葉色 | 葉の状態 | 施用時期 | 施用量 |
|-----------------------|-------|--------|----------------------|---------|
| 条間が手前から30～50mくらいまで見える | 3.4以下 | 立つひらつく | 早く(5～8mm) やや早く(10mm) | 標準量 |
| | 3.5 | 立つひらつく | 標準(1.5cm) 遅く(2～3cm) | 標準量 |
| | 3.6以上 | 立つひらつく | 標準(1.5cm) 遅く(2～3cm) | 減らす |
| 条間が見えない | 3.4以下 | 立つひらつく | 標準(1.5cm) 遅く(2～3cm) | 標準量 |
| | 3.5 | 立つひらつく | 標準(1.5cm) 遅く(2～3cm) | 減らす |
| | 3.6以上 | 立つひらつく | 標準(2～3cm) 無施用 | 減らす 無施用 |
- ・水管理
中干し後、3～4日間ごとに通水（間断通水）
フェーン時には通水し、水分補給する。
夜間通水し、稲体の活力維持に努める（高夜温が続く場合）
 - ・病害虫防除
葉いもち、紋枯病の発生に注意
葉いもち…ブラシン粉剤DL 4kg/10a
紋枯病…リンバー粒剤 3～4kg/10a
稲こうじ病…Zボルドー粉剤 3～4kg/10a
 - ・畦畔・農道除草（カメムシ類対策）
集落ぐるみで行う。（7月10日まで）



幼穂形成期にはキチッと穂肥の入る『うち(条間)』の見える稲に仕上げよう。
最近多発しているカメムシ
アカヒゲホソミドリ
カスミカメ(成虫)

4月 米づくりは苗づくりから。

- ☆**営農のポイント**
- ・播種
播種量 120g/箱
- 
- 120g播きで健苗育成
- ・育苗管理
- | | 温度管理 | 灌 水 |
|------------------------------|------------------------|--|
| 緑化期
(1～3日後) | ・昼20～25℃
・夜15～20℃以上 | ・覆土の持ち上がりや箱のズミが白く乾いた時だけ灌水する。 |
| 硬化期前期
(4～9日後) | ・昼20℃前後
・夜10℃以上 | ・午前10時頃までに行う
・晴天の日の朝は十分に行う
・雨天の日は床土の乾き具合に応じて |
| 硬化期中期
(10～15日後) | ・昼15～20℃
・夜10℃以上 | ・朝方ムラなく十分に行う |
| 硬化期後期
(16日～)
田植え8～10日前 | ・外気温にならす | ・床土が乾きやすいので、朝昼2回必要な場合があるので注意。 |
| 田植え4～5日前 | ・夜間も換気 | |
- ※()内はハウス搬入後日数

8月 葉・茎・根の活力が決め手です。

- ☆**営農のポイント**
- ・水管理
出穂後は、「1日通水後、2～3日落水」を繰り返す。
圃場では、少し足が沈む程度の湿潤状態を保つ(飽水管理)
フェーン時や強風時は、早急に入水する。
地域ぐるみで計画的な通水に努める。
- 圃場の過乾燥は、着色米の要因!! こまめな水管理を!!

9月 うまい・きれいの総仕上げ。

- ☆**営農のポイント**
- ・水管理
刈り取り5日前まで、通水管理を続ける。
 - ・適正な乾燥調整
乾燥中の穀温35℃以下を目安
こまめに水分を測定
肌ずれ米防止(水分過多や高温粉は粉すりしない)
適正な網目を使用(1.90mm LL網)
-

5月 苗づくりから稲づくりへ。

- ☆**営農のポイント**
- ・田植時
浅水管理で早期に茎数を確保。
植付株数60株を基本とする。
植付本数3本～4本とし、1～2本の株があっても補植しない。
 - ・田植直後
植傷みを防ぐため、すみやかに深水管理とする。
 - ・活着後
低温・強風時以外は浅水管理とする。
 - ・田干し
5月下旬の温暖な日に2～3回落水する。
 - ・溝切り準備
5月末に溝切り準備にとりかかる。
-

中干しは早めに!! 6月初旬(13～15本/株が開始時期)
出来過ぎは、乳白、倒伏の要因!!

10月 稲刈りあとから始まります。

- ☆**営農のポイント**
- ・土づくり(10月中旬までに耕起)
稲わらの全量鋤込み(稲わら600kgは、堆肥1tに相当)
- ## 「売れる米」づくりは土づくりから!!
- BBコシー発くんは、省力化肥料ですが、穂肥の肥効部分には、リン酸・カリが含まれていません。毎年施用すると地力低下を招きますので、必ず収穫後は土づくりを実践して下さい。
- | 肥 料 名 | 施用量(10a) |
|-----------|----------|
| ダイナマイトソイル | 100Kg |
| パワフル大地 | 60Kg |
- 深耕(15cmをめざす)

6月 今月が勝負どころ。

- ☆**営農のポイント**
- ・溝切り
6月3日頃から溝切りスタート
-
- ※必ず溝は水口水戸尻を結ぶ
- ・中干し
7月5日頃まで中干しを続ける。
 - ・珪酸加里の施用
稲体の健全化のため、珪酸加里を40kg/10a施用する。
 - ・畦畔・農道の除草
カメムシ類の生息場所をなくす。
-

【畦畔で使用可能な除草剤一覧】					現在
除草剤名		水 稲			
		耕 起 前	畦 畔	収 穫 後	
ラウンドアップマックスロード	登録有無	○	○	○	
	使用回数	2回 ※注1	3回 ※注1	1回	
	使用時期	耕起前まで	収穫前日まで	収穫後	
タッチダウンIQ	登録有無	○	○	○	
	使用回数	1回 ※注1	2回 ※注1	1回	
	使用時期	耕起前まで	収穫14日前まで	収穫後	
サンフーロン	登録有無	○	○	○	
	使用回数	1回 ※注1	2回 ※注1	1回 ※注1	
	使用時期	耕起20～10日前	収穫14日前まで	収穫後	
ザクサ液剤	登録有無	○	○	○	
	使用回数	1回	2回	1回	
	使用時期	耕起前まで	収穫7日前まで	収穫後	
ブリグロックスL	登録有無	○	○	○	
	使用回数	1回 ※注2	5回	1回 ※注2	
	使用時期	耕起1ヶ月～直前	雑草生育期	収穫後	
カーメックス顆粒	登録有無		○		
	使用回数	雑草発生前～雑草前期	1回		X
	使用時期		雑草発生前		
MCPソーダ塩	登録有無		○	○	
	使用回数	X	3回	1回	
	使用時期		収穫14日前まで	収穫後10日以内	

※注1：ラウンドアップマックスロードとタッチダウンIQ、サンフーロンには同一成分が含まれていますので、3割合せての回数です。
※注2：ブリグロックスLは、収穫後もしくは耕起前のどちらか1回使用可。